

外郭団体特別委員会審査から②

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が7月25日と8月7日にひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員、朝倉えつ子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

7月25日 水道局

一般財団法人 神戸市水道サービス公社

他都市よりも自市の抱える問題に注力を

——— 味口としゆき議員

一般財団法人神戸市水道サービス公社は、漏水調査・施設巡回等の施設管理事業をはじめ、三田市や播磨町などの近隣市町の技術的支援をおこなっています。味口議員は、他都市の仕事より神戸市が抱える問題に注力すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

味口議員：大前提は神戸市の仕事だ。よその町の仕事をするのは本来の趣旨から離れているのではないか。

藤原局長：一定収益を得ていく必要があり、そういった事業を受けることで公社の技術的な能力がアップし、本市のためになる。

味口議員：水道料金を値上げした大きな理由は、人口減少で給水収益が落ちるということと、老朽管路の更新のためだ。

藤原局長：ご指摘の通り、今後業務が増大していくが、難易度の高い難しい工事は水道局本体で、定例的な業務は公社でと分担して進めている。

味口議員：市民には、管路がこのままでは地震にも備えられないとして値上げを求めたが、公社は他都市に行って仕事しているのでは、市民は納得できない。

藤原局長：本体の水道局の事業に差し障りがあるほど受け入れていない。



味口議員：神戸市には仕事が多くあり腐心している。本来の神戸市の仕事をするべきだと経営改革プランで示して進めるのが本筋だ。

その他の質問

- 民間事業者の育成と技術移転の推進について

7月25日 建築住宅局

一般財団法人 神戸住環境整備公社

市営住宅

1軒でも多くの市民が入居できるよう改善を

——— 朝倉えつ子議員

一般財団法人神戸住環境整備公社は、市営住宅募集などの業務委託を神戸市から受けています。現在市営住宅では、当選者1名と次点の補欠当選者1名が選定されますが、当選者と補欠当選者が辞退もしくは資格がなかった場合、入居者を決めず空室のままという状況になっています。朝倉議員は、2022年度に37戸も入居者を決めなかったことを指摘し、市営住宅に入居したい市民の皆さんの願いを

聞いて改善すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

片野副局長：補欠者を増やすためにはシステム改修を要する。次のシステム改修の時期までにと検討をしている。

朝倉議員：もっと早く検討すべきだったのではないか。監査報告では、6000戸を削減する移転先へのストックとして押さえられているために、空室でも募集にかからない住宅があることが指摘されている。改善が必要ではないか。

住環境部長：申込時にアンケートを取り、集計して市に報告をしている。これらを生かして今後の募集につなげたい。

朝倉議員：市営住宅削減のマネジメント計画は中止し、市営住宅へ入居したい



市民の皆さんの願いにきちんと応えられるように業務改善すべきだ。

その他の質問

- 市営住宅の受付・申込冊子の配布について

ぜひご視聴ください

大かわら鈴子議員と朝倉えつ子議員が代表質疑



日時 9月24日(火) 10時から 場所 市議会本会議場

ご視聴はこちら

株式会社こうべ未来都市機構

買物難民増やさぬよう 商店街の育成・支援こそ全力で

—— 味口としゆき議員

株式会社こうべ未来都市機構は、ショッピングセンターや再開発ビルの運営、スーパーなどの近隣商業施設の誘致や支援をおこなっています。昨年、神戸市内ではスーパーの撤退が相次ぎました。味口議員は、買物難民が生まれる状況など

あってはならないと質し、スーパーの誘致と同時に、商店街の育成と支援にも注力すべきと求めました。

答弁ダイジェスト

常務取締役：トーホー跡地は、スーパーの需要が高いので特に力を入れてきたが、新たに誘致するのは非常に厳しい。

味口議員：神戸市は高度経済成長長期にニュータウンの開発を計画的におこなってきた。市の責任問題として、スーパーを誘致する必要がある。オールドタウン化している近隣センター付近では家電店

の撤退後にフィットネスが入って住民は困っている。退店と入店の兼ね合いも必要だ。

代表取締役専務：店舗の構成が変わることは仕方がない。

味口議員：スーパーの維持も大事だがリスクも大きい。一方で商店街は一気になくなることはなく、店舗も小さいので商売しやすい面がある。商店街を育成し・支援することへ転換が必要だ。

その他の質問

- 海上アクセスについて

ポ
ー
ト
ラ
イ
ナ
ー
三
宮
駅
ホ
ー
ム
拡
張

神戸新交通株式会社

インバウンド頼みの 計画やめよ

—— 朝倉えつ子議員

神戸新交通株式会社は、ポートライナーと六甲ライナーの運営をおこなっています。神戸市は、ポートライナー三宮駅のホームを27億円もかけて拡張する計画をしています。朝倉議員は、乗客数が倍

になるという万博やインバウンドを当て込んだ過剰な需要予測は到底無理があると指摘し、インバウンド頼みで進めるのではなく、市民の安全、利便の確保にこそ力を尽くして対策すべきと質しました。

答弁ダイジェスト

朝倉議員：ホーム拡張は本当に必要なのか。混雑緩和のための朝夕のバスの振替輸送を充実させる方向も考えたらどうか。

武田部長：ポートライナーは現在も混んでいる。広げるだけではなく分散が目

的だ。バスは1時間から1時間半のピーク時に本数を増やすのは難しい。神戸空港国際化も控えているので、利用者は確実に増える。

朝倉議員：インバウンドを当て込んだ需要予測は到底無理がある。中期経営計画では、業務改善・効率化による経費の圧縮や経費の削減と言いながら、ホームの拡張は整合性がない。

その他の質問

- 輸送障害発生件数について

株式会社神戸サンセンタープラザ

区分所有者だけでなくテナントの 皆さんも含めて検討を

—— 味口としゆき議員

株式会社神戸サンセンタープラザは、センタープラザ3館の管理運営などをおこなっています。サンセンタープラザ3館は、今年6月の区分所有者会議において、「建て替えを前提とした検討を進める」と議決されました。味口議員は、全区分所有者とテナントの皆さんが合意形成できるよう、丁寧な説明と議論をすべきと質しました。

い。さらにアンケートでは、「建て替えに向けた検討が必要」という意見はたった9名だ。なぜこの状況で建て替えの検討となるのか。

光平都心再整備部長：9名は自由意見だ。建て替えの検討を進めるべきと回答したのは約7割、現状肯定派は1割弱だ。

味口議員：事業者ヒアリングでも「権利者が非常に多いため、合意形成に時間が必要であり、最重要課題」と言われている。アンケートだけでなく対面で意見を聞くなど、特段の努力が必要ではないか。

光平都心再整備部長：今後、内容が具体化してくる段階で、もう少しやり方を変えながら丁寧に意見を聞いていきたい。

味口議員：(建て替えとなると)営業の保障の問題もある。テナントとの話し合いはしているのか。

光平都心再整備部長：まだ建て替えが決まっているわけではないので、当面は区分所有者と検討を進める。テナントの

皆さんには方向性が見えてきた段階でと考えている。

味口議員：(センタープラザを)箱としか考えていないと思うような答弁だ。よくお店の話を聞くべきだ。また、権利床の確保や管理費の説明はしているのか。

光平都心再整備部長：まだ具体的な数字を示す段階ではない。

味口議員：以前と話が違うということにならないように、デメリットもあることを開示して合意形成を図っていくべきだ。

その他の質問

- バリアフリー等の改修について

答弁ダイジェスト

味口議員：(センタープラザ3館まちづくり) ニュースを見ると、検討会の区分所有者の参加率状況は33.9%と少な

神戸高速鉄道株式会社

バリアフリー対策を理由にした 利用者負担やめよ

—— 朝倉えつ子議員

神戸高速鉄道株式会社は、第三種鉄道事業者として神戸高速線の運営や、駅賃

貸事業をおこなっています。神戸高速鉄道は、2025年1月から普通運賃に10円上乗せして値上げする予定です。朝倉議員は、安全・バリアフリー対策は国の責任でおこなうべきであり、利用者負担はやめるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

久保部長：2021年に国から利用者負担

の考えに基づいた制度が導入された。都市部は利用者の負担で整備し、地方部では引き続き国の補助を入れて整備を加速化する方針だ。

朝倉議員：みんなが分け隔てなく、どこにでも自由に行けるという権利は憲法で保障されている。国に対してもさらなる公費の充実も求め、これ以上の負担を利用者、市民に押しつけることはやめるべきだ。